

I 人口・世帯数の概要

1 概要

令和4年10月1日現在の住民基本台帳に基づく浜松市の総人口は793,615人で、前年に比べ3,214人(0.40%)減少している。世帯数は351,337世帯で、前年に比べ3,685世帯(1.06%)増加している。

性別で見ると、男性が395,476人(構成比49.8%)で、前年に比べ1,471人(0.37%)減少している。女性は398,139人(同50.2%)で、前年に比べ1,743人(0.44%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.3で、前年と同様であった。

1世帯当たりの平均人員は2.26人で、前年と比べ0.03人減少している。

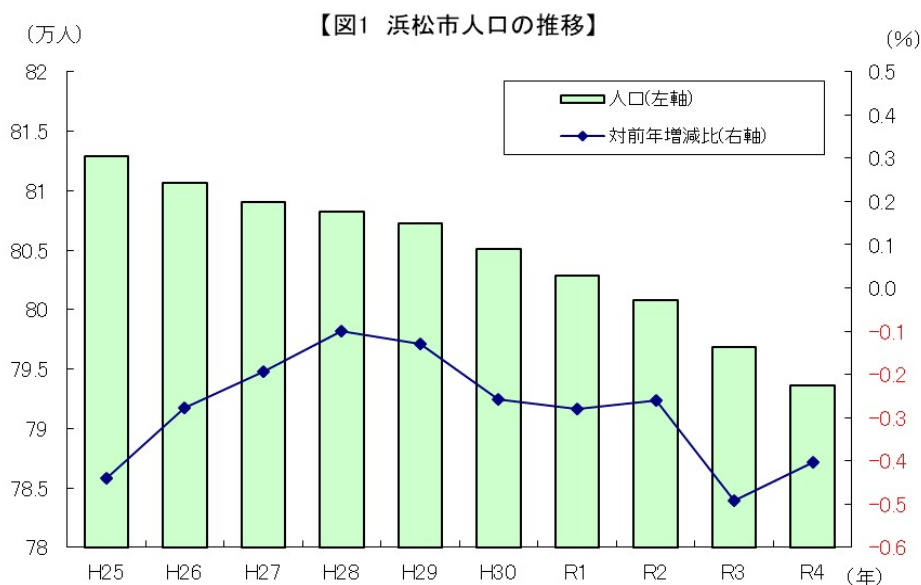


表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	総		人			口		日		本		
	総	数	前	年	比	男	女	世	帯	数	前	年
平成 25年	812,888	△ 0.44	404,343	408,545	321,882	791,400	△ 0.12					
26	810,642	△ 0.28	403,298	407,344	324,478	789,670	△ 0.22					
27	809,065	△ 0.19	402,309	406,756	327,467	788,190	△ 0.19					
28	808,249	△ 0.10	402,184	406,065	330,765	786,831	△ 0.17					
29	807,199	△ 0.13	401,711	405,488	333,930	784,658	△ 0.28					
30	805,110	△ 0.26	400,835	404,275	337,238	781,147	△ 0.45					
令和 元年	802,856	△ 0.28	399,971	402,885	340,896	777,581	△ 0.46					
2	800,760	△ 0.26	399,008	401,752	344,732	775,373	△ 0.28					
3	796,829	△ 0.49	396,947	399,882	347,652	771,605	△ 0.49					
4	793,615	△ 0.40	395,476	398,139	351,337	767,235	△ 0.57					

表2 浜松市人口・世帯数等

区 分	令 和 3 年 10 月 1 日						総 数	前年比%
	総 数	男	女	性比	世帯数	1世帯当たり平均人員		
総 人 口	796,829	396,947	399,882	99.3	347,652	2.29	793,615	△ 0.40
日本人住民	771,605	384,535	387,070	99.3	335,547	2.30	767,235	△ 0.57
外国人住民	25,224	12,412	12,812	96.9	12,105	2.08	26,380	4.58

2 日本人住民数と外国人住民数

令和4年10月1日現在の日本人住民数は767,235人で、前年に比べ4,370人(0.57%)減少している。世帯数は338,333世帯で、2,786世帯(0.83%)増加している。

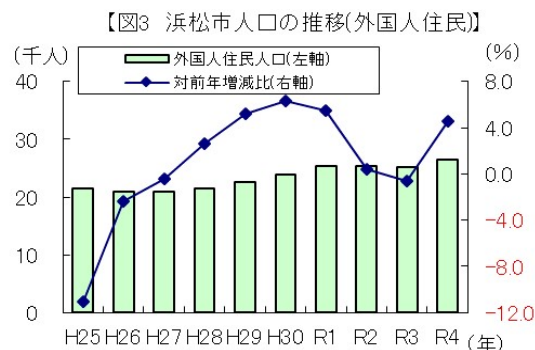
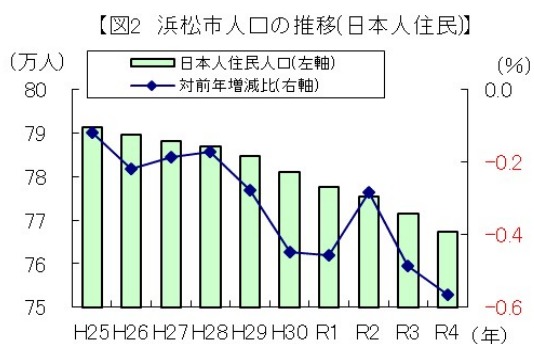
性別で見ると、男性が382,387人(構成比49.8%)で、前年に比べ2,148人(0.56%)減少している。女性は384,848人(同50.2%)で、前年に比べ2,222人(0.57%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.4で、前年に比べ0.1ポイント増加している。

1世帯当たりの平均人員は2.27人で、前年に比べ0.03人減少している。

令和4年10月1日現在の外国人住民数は26,380人で、前年に比べ1,156人(4.58%)増加している。世帯数も13,004世帯で、前年に比べ899世帯(7.43%)増加している。

性別で見ると、男性が13,089人(構成比49.6%)で、前年に比べ677人(5.45%)増加、女性は13,291人(同50.4%)で、前年に比べ479人(3.74%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は98.5で、前年に比べ1.6ポイント増加している。

1世帯当たりの平均人員は2.03人で、前年に比べ0.05人減少している。



人 住 民			外 国 人		人 住 民		
男	女	世帯数	総 数	前年比%	男	女	世帯数
393,864	397,536	312,365	21,488	△ 11.04	10,479	11,009	9,517
393,052	396,618	315,192	20,972	△ 2.40	10,246	10,726	9,286
392,182	396,008	318,343	20,875	△ 0.46	10,127	10,748	9,124
391,796	395,035	321,240	21,418	2.60	10,388	11,030	9,525
390,767	393,891	323,664	22,541	5.24	10,944	11,597	10,266
389,077	392,070	326,104	23,963	6.31	11,758	12,205	11,134
387,419	390,162	328,710	25,275	5.48	12,552	12,723	12,186
386,464	388,909	332,478	25,387	0.44	12,544	12,843	12,254
384,535	387,070	335,547	25,224	△ 0.64	12,412	12,812	12,105
382,387	384,848	338,333	26,380	4.58	13,089	13,291	13,004

令 和 4 年 10 月 1 日									
男	前年比%	女	前年比%	性比	世帯数	前年比%	1世帯当たり平均人員	面積km ²	人口密度
395,476	△ 0.37	398,139	△ 0.44	99.3	351,337	1.06	2.26	1,558.06	509
382,387	△ 0.56	384,848	△ 0.57	99.4	338,333	0.83	2.27	-	-
13,089	5.45	13,291	3.74	98.5	13,004	7.43	2.03	-	-

3 行政区別人口

行政区別に人口・世帯数をみると、人口・世帯数ともに最も多いのは中区で、235,712人(構成比29.70%)、114,681世帯(同32.64%)である。また、人口・世帯数ともに最も少ないのは天竜区で、26,368人(同3.32%)、12,064世帯(同3.43%)である。

人口密度も同様に、最も高いのは中区の5,316人/km²、最も低いのは天竜区の28人/km²である。

性比(女性を100とした場合の男性の割合)は、南区が102.2で最も高く、続く東区も100.5で、男性の割合が高い。性比が最も低いのは、天竜区の94.7である。

【図4 行政区別人口・世帯数(構成比)】

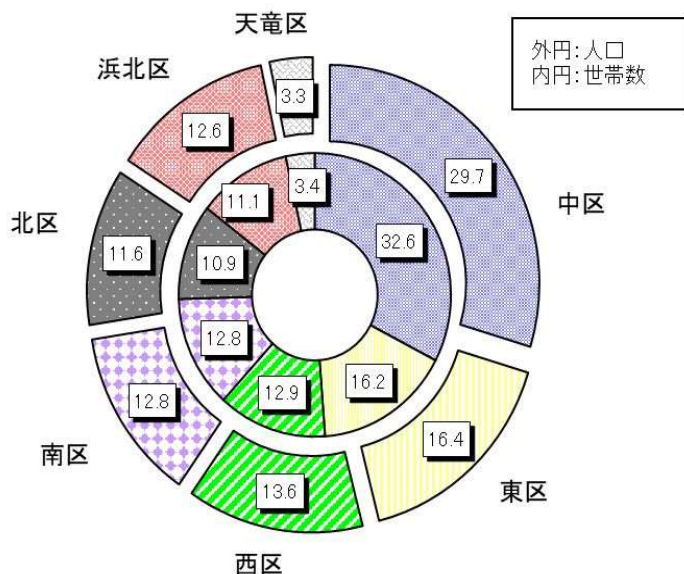


表3 区別の人口・世帯数等

区別	令和3年10月1日		令和4年10月1日										
	総数	世帯数	総数	前年比%	男	女	性比	世帯数	前年比%	1世帯当たり平均人員	人口構成比	面積km ²	人口密度
中区	236,086	113,253	235,712	△ 0.16	116,873	118,839	98.3	114,681	1.26	2.06	29.7	44.34	5,316
東区	130,252	56,161	129,860	△ 0.30	65,076	64,784	100.5	56,744	1.04	2.29	16.4	46.29	2,805
西区	108,842	44,913	108,117	△ 0.67	53,772	54,345	98.9	45,407	1.10	2.38	13.6	114.71	943
南区	102,174	44,678	101,640	△ 0.52	51,366	50,274	102.2	45,040	0.81	2.26	12.8	46.84	2,170
北区	92,726	38,002	92,270	△ 0.49	45,823	46,447	98.7	38,427	1.12	2.40	11.6	295.54	312
浜北区	99,790	38,464	99,648	△ 0.14	49,738	49,910	99.7	38,974	1.33	2.56	12.6	66.50	1,498
天竜区	26,959	12,181	26,368	△ 2.19	12,828	13,540	94.7	12,064	△ 0.96	2.19	3.3	943.84	28

4 年齢別人口

年齢別に人口をみると、前年に比べ、年少人口（15歳未満）は98,758人（構成比12.4%）で2,555人、生産年齢人口（15歳～64歳）は469,703人（同59.2%）で1,797人それぞれ減少しているのに対し、老年人口（65歳以上）は225,154人（同28.4%）で1,138人増加している。

行政区別に構成比をみると、年少人口が最も高いのは浜北区（14.6%）で、最も低いのは天竜区（7.4%）である。生産年齢人口が最も高いのは中区（61.0%）で、最も低いのは天竜区（46.0%）である。老年人口が最も高いのは天竜区（46.7%）で、最も低いのは東区（26.2%）である。

表4 年齢3区分別人口

区 分	令和3年		令和4年						
	浜松市	浜松市	中 区	東 区	西 区	南 区	北 区	浜北区	天竜区
年 少 人 口 (15 歳 未 満)	101,313	98,758	28,137	17,111	13,258	12,291	11,455	14,567	1,939
構 成 比 (%)	12.7	12.4	11.9	13.2	12.3	12.1	12.4	14.6	7.4
生 産 年 齢 人 口 (15 歳 ~ 64 歳)	471,500	469,703	143,707	78,675	63,570	61,223	52,262	58,148	12,118
構 成 比 (%)	59.2	59.2	61.0	60.6	58.8	60.2	56.6	58.4	46.0
老 年 人 口 (65 歳 以 上)	224,016	225,154	63,868	34,074	31,289	28,126	28,553	26,933	12,311
構 成 比 (%)	28.1	28.4	27.1	26.2	28.9	27.7	30.9	27.0	46.7

年齢構成指数をみると、年少人口指数は21.0(前年21.5)で前年に比べ減少している。老年人口指数は47.9(同47.5)、老年化指数は228.0(同221.1)で、前年に比べ上昇している。従属人口指数は69.0(同69.0)で、前年と同様であった。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で180を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

【図5 年齢3区分別人口(構成比)】

【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数(生産年齢人口に占める年少人口の割合)

$$\frac{\text{年 少 人 口}}{\text{生 産 年 齢 人 口}} \times 100$$
- 老年人口指数(生産年齢人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老 年 人 口}}{\text{生 産 年 齢 人 口}} \times 100$$
- 従属人口指数(生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和)

$$\frac{\text{年 少 人 口} + \text{老 年 人 口}}{\text{生 産 年 齢 人 口}} \times 100$$
- 老年化指数(年少人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老 年 人 口}}{\text{年 少 人 口}} \times 100$$

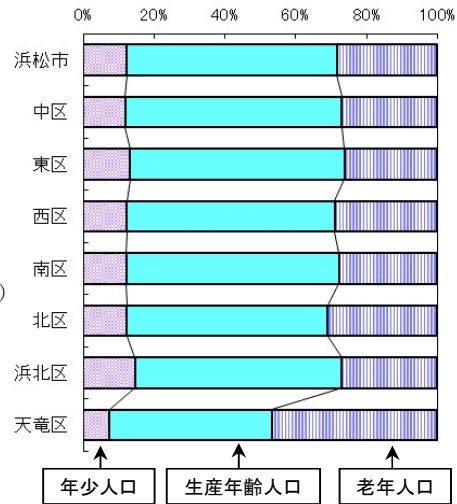


表5 年齢構成指数

区 分	令和3年		令和4年						
	浜松市	浜松市	中 区	東 区	西 区	南 区	北 区	浜北区	天竜区
年 少 人 口 指 数	21.5	21.0	19.6	21.7	20.9	20.1	21.9	25.1	16.0
老 年 人 口 指 数	47.5	47.9	44.4	43.3	49.2	45.9	54.6	46.3	101.6
従 属 人 口 指 数	69.0	69.0	64.0	65.1	70.1	66.0	76.6	71.4	117.6
老 年 化 指 数	221.1	228.0	227.0	199.1	236.0	228.8	249.3	184.9	634.9

日本人住民の平均年齢は47.48歳で、前年の47.17歳より0.31歳上昇している。男女別にみると、男性は45.96歳(前年45.66歳)、女性は49.00歳(同48.67歳)で、ともに前年に比べ上昇している。外国人住民の平均年齢は34.99歳で、前年の34.90歳より0.09歳上昇している。

男女別にみると、男性は33.71歳(前年33.70歳)、女性は36.26歳(同36.07歳)で、ともに前年に比べ上昇している。

行政区別にみると、日本人住民の平均年齢は、前年と同様すべての区において上昇しており、最も上昇幅が大きかったのは西区の0.41歳で、最も上昇幅が小さかったのは中区の0.27歳であった。外国人住民の平均年齢は、前年に比べ、中区、西区、南区については上昇しているが、その他の区では低下している。

表6 平均年齢

【日本人住民】

区 別	令和3年			令和4年		
	男	女	合計	男	女	合計
浜 松 市	45.66	48.67	47.17	45.96	49.00	47.48
中 区	45.50	48.67	47.10	45.76	48.97	47.37
東 区	44.55	47.18	45.86	44.86	47.48	46.17
西 区	45.99	48.98	47.50	46.45	49.36	47.91
南 区	45.64	48.71	47.16	45.91	49.01	47.44
北 区	46.64	49.76	48.21	47.02	50.19	48.61
浜 北 区	44.43	46.98	45.71	44.69	47.29	45.99
天 竜 区	55.23	59.25	57.30	55.51	59.61	57.61

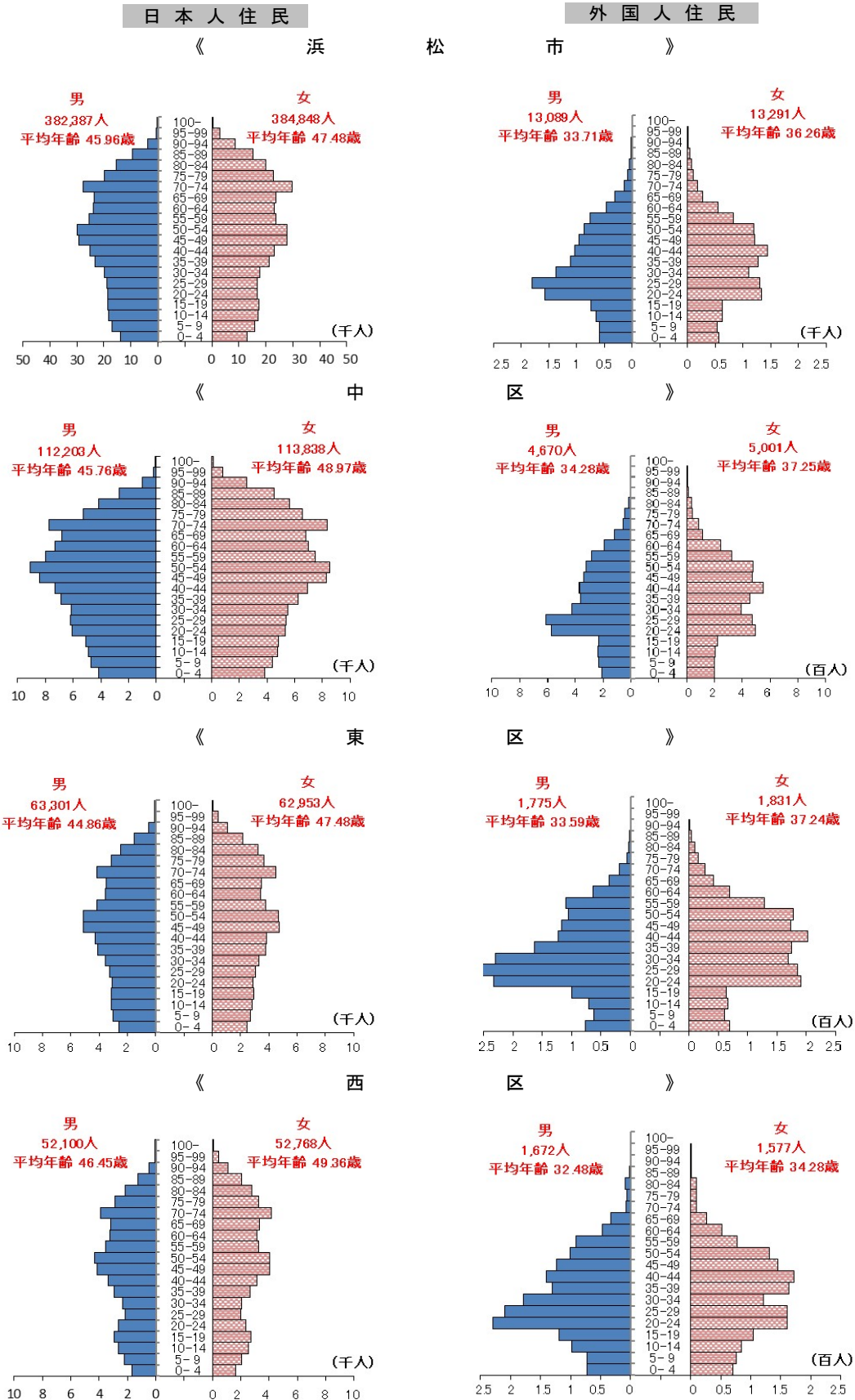
【外国人住民】

区 別	令和3年			令和4年		
	男	女	合計	男	女	合計
浜 松 市	33.70	36.07	34.90	33.71	36.26	34.99
中 区	34.15	36.97	35.62	34.28	37.25	35.82
東 区	34.02	37.01	35.55	33.59	37.24	35.45
西 区	32.43	34.17	33.28	32.48	34.28	33.35
南 区	33.40	35.53	34.45	33.85	35.89	34.86
北 区	33.13	35.23	34.16	32.85	35.14	33.98
浜 北 区	33.68	34.31	34.00	33.28	34.50	33.88
天 竜 区	37.44	40.28	38.89	37.77	38.86	38.33

人口ピラミッド(5歳階級)は、日本人住民において、50歳代前半(昭和43～47年生)と、70歳代前半(昭和23～27年生)の人口が多いことを表している。外国人住民は、20歳代後半の人口が最も多い。

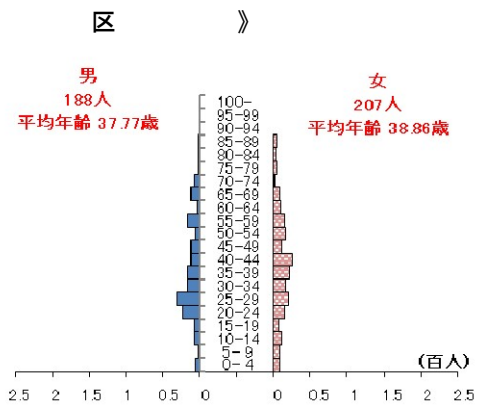
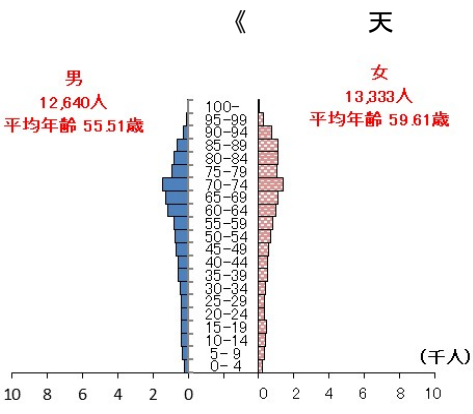
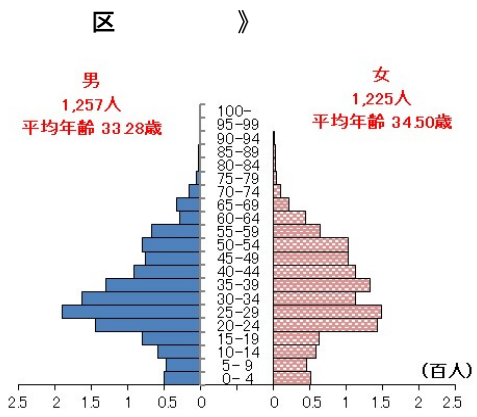
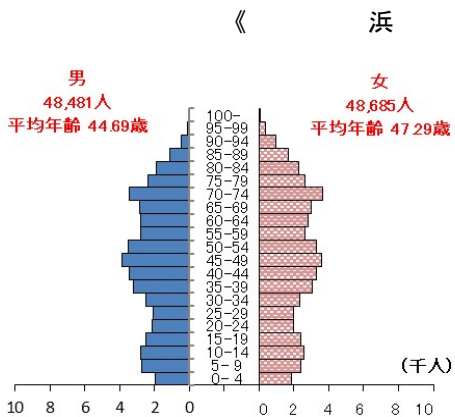
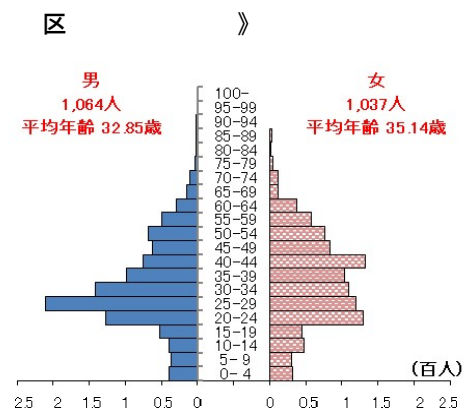
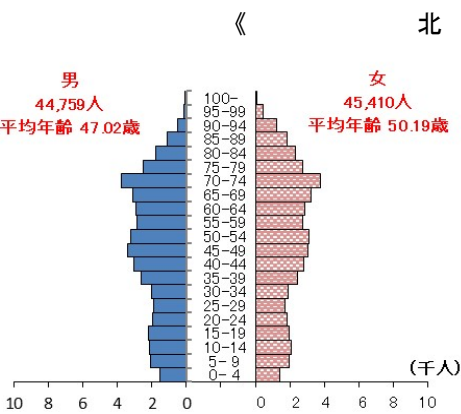
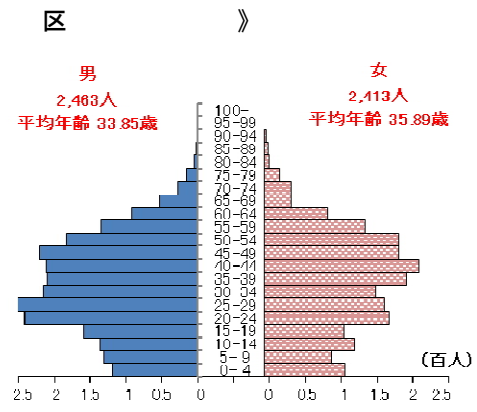
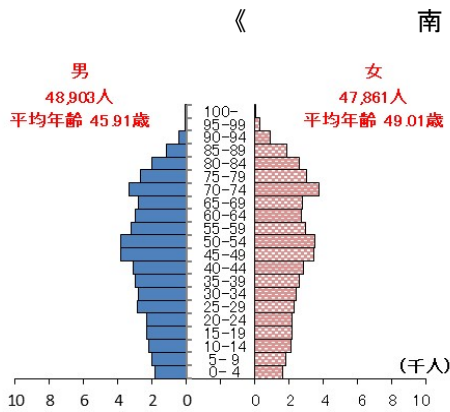
行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。南区と北区の日本人住民人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。天竜区の日本人住民においては、第二次ベビーブーム世代の凸が見られない。

【図6 人口ピラミッド(5歳階級)】



日本人住民

外国人住民



5 人口動態(令和4年1月～令和4年12月)

(1) 自然動態

令和4年1月から令和4年12月までの自然動態をみると、出生数は5,143人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は6.48‰(パーミル)である。これに対し、死亡数は9,397人、死亡率(人口1,000人当たりの死亡数)は11.84‰で、両者の差である自然増減数は4,254人減、自然増減率(人口1,000人当たりの自然増減数)は5.36‰減である。

前年と比較すると、出生数は212人減少し、死亡数は538人増加している。自然増減数は750人減で、14年連続の減少である。

行政区別にみると、出生数は中区、東区、南区の順に多く、死亡数は中区、東区、西区の順に多い。自然増減数は東区、浜北区の順に多く、中区、西区、北区では大きく減少している。

出生率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは東区であり、自然増減率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。

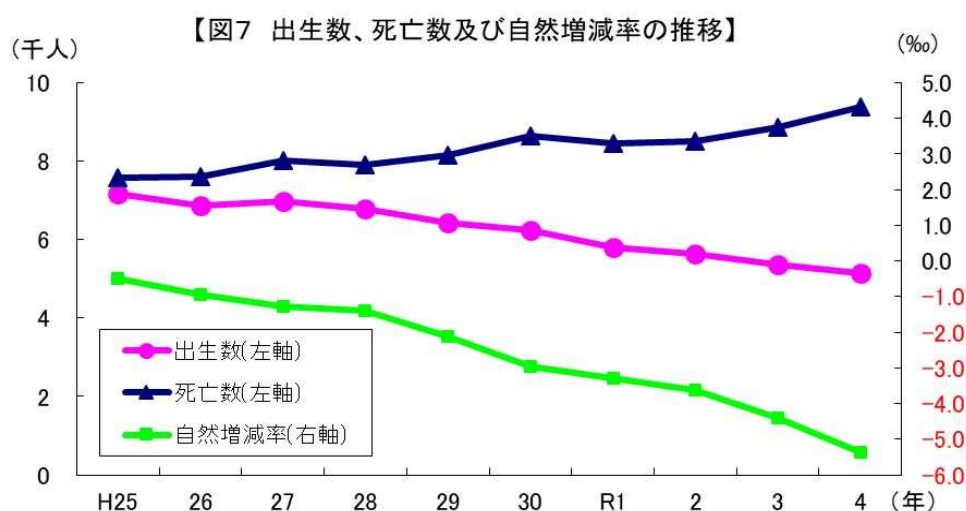


表7 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 減		
	総 数	出生率(‰)	前年比(%)	総 数	死亡率(‰)	前年比(%)	総 数	自然増減率(‰)	前年比(%)
浜松市	5,143	6.48	△ 3.96	9,397	11.84	6.07	△ 4,254	△ 5.36	△ 21.40
中 区	1,571	6.66	△ 9.66	2,617	11.10	3.40	△ 1,046	△ 4.44	△ 32.07
東 区	1,040	8.01	2.26	1,354	10.43	4.64	△ 314	△ 2.42	△ 13.36
西 区	605	5.60	△ 6.49	1,330	12.30	10.56	△ 725	△ 6.71	△ 30.40
南 区	696	6.85	0.58	1,196	11.77	13.80	△ 500	△ 4.92	△ 39.28
北 区	504	5.46	1.61	1,213	13.15	0.41	△ 709	△ 7.68	0.42
浜北区	661	6.63	△ 3.50	1,089	10.93	6.97	△ 428	△ 4.30	△ 28.53
天竜区	66	2.50	△ 16.46	598	22.68	7.94	△ 532	△ 20.18	△ 12.00
令和3年	5,355	6.72	△ 4.85	8,859	11.12	4.00	△ 3,504	△ 4.40	△ 21.25

(2) 社会動態

令和4年1月から令和4年12月までの社会動態をみると、転入者数は23,859人、転入率(人口1,000人当たりの転入者数)は30.06‰(パーミル)である。これに対し、転出者数は22,676人、転出率(人口1,000人当たりの転出者数)は28.57‰で、両者の差である社会増減数は1,183人増加となり、社会増減率(人口1,000人当たりの社会増減数)は1.49‰増である。

前年と比較すると、転入者数は3,737人、転出者数は1,863人とともに増加となった。社会増減数は1,874人増加となっている。

行政区別にみると、転入者数・転出者数ともに中区、東区の順に多い。社会増減数は中区、南区、西区の順に増加している。転入率・転出率ともに最も高いのは中区であり、社会増減率は中区、南区、西区の順に高い値となっている。

自然動態と社会動態を比較すると、本年は転入者数が多く、社会増減数は1,183人増加したが、自然増減数は4,254人減少となり、引き続き人口は減少している。

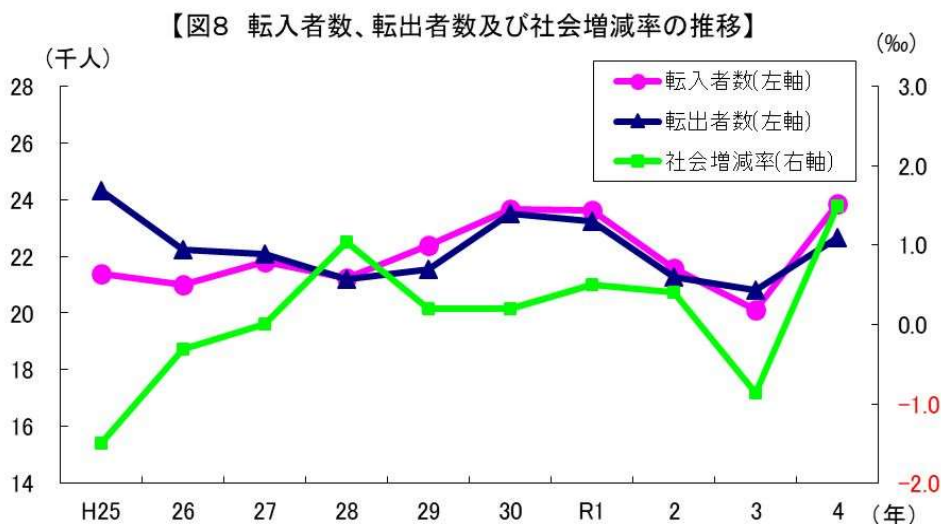


表8 社会動態(市外移動)

区別	転入			転出			社会増減		
	総数	転入率(‰)	前年比(%)	総数	転出率(‰)	前年比(%)	総数	社会増減率(‰)	△は減少率前年比(%)
浜松市	23,859	30.06	18.57	22,676	28.57	8.95	1,183	1.49	271.20
中区	9,322	39.55	12.56	8,517	36.13	5.06	805	3.42	360.00
東区	3,510	27.03	9.93	3,577	27.55	9.25	△ 67	△ 0.52	17.28
西区	3,223	29.81	39.64	3,062	28.32	16.34	161	1.49	149.69
南区	3,295	32.42	28.91	3,105	30.55	16.38	190	1.87	269.64
北区	2,016	21.85	14.94	1,929	20.91	1.47	87	0.94	159.18
浜北区	2,123	21.30	23.79	2,094	21.01	14.43	29	0.29	125.22
天竜区	370	14.03	17.83	392	14.87	△ 2.24	△ 22	△ 0.83	74.71
令和3年	20,122	25.25	△ 6.80	20,813	26.12	△ 2.10	△ 691	△ 0.87	△ 310.03

6 人口移動状況(住民基本台帳・令和4年1月～令和4年12月)

令和4年1月から令和4年12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は10,280人(構成比53.7%)、転出者は9,764人(同49.5%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者は東京都特別区、静岡市、名古屋市の順に多く、転出者は東京都特別区、名古屋市、静岡市の順に多い。

全国でみると591人の転出超過であるが、北陸甲信越、東海、中国、四国に対しては転入超過である。東海地方においては516人の転入超過であるが、愛知県に対しては42人の転出超過である。

表9 地方別転入・転出者数

地 方	転 入				転 出				転 入 超 過 数 (△は転出超過数)		
	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	男	女
総 数	19,139	100.0	10,999	8,140	19,730	100.0	11,249	8,481	△ 591	△ 250	△ 341
北 海 道	236	1.2	141	95	305	1.5	190	115	△ 69	△ 49	△ 20
東 北	415	2.2	246	169	438	2.2	282	156	△ 23	△ 36	13
関 東	4,417	23.1	2,604	1,813	5,463	27.7	3,083	2,380	△ 1,046	△ 479	△ 567
北陸甲信越	808	4.2	449	359	738	3.7	470	268	70	△ 21	91
東 海	10,280	53.7	5,807	4,473	9,764	49.5	5,422	4,342	516	385	131
近 畿	1,342	7.0	798	544	1,597	8.1	915	682	△ 255	△ 117	△ 138
中 国	602	3.1	341	261	378	1.9	227	151	224	114	110
四 国	167	0.9	99	68	144	0.7	87	57	23	12	11
九州・沖縄	872	4.6	514	358	903	4.6	573	330	△ 31	△ 59	28

注1) 住民基本台帳人口移動報告年報(基本集計)(総務省統計局)による。

注2) 東北地方:青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地方:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸甲信越地方:新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

近畿地方:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方:徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、統計表6に掲載。

表10 東海地方県別転入・転出者数

県	転 入				転 出				転 入 超 過 数 (△は転出超過数)		
	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	男	女
総 数	10,280	100.0	5,807	4,473	9,764	100.0	5,422	4,342	516	385	131
静 岡 県	6,117	59.5	3,392	2,725	5,660	58.0	3,111	2,549	457	281	176
岐 阜 県	390	3.8	231	159	348	3.6	207	141	42	24	18
愛 知 県	3,384	32.9	1,935	1,449	3,426	35.1	1,900	1,526	△ 42	35	△ 77
三 重 県	389	3.8	249	140	330	3.4	204	126	59	45	14